

## 令和7年（2025年）の白山の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

### ○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2025年の発表履歴

2025年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

### ○ 2025年の活動概況

#### ・噴気などの表面現象の状況（図1）

白峰監視カメラ（白山山頂の西約12km）による観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。9月22日に北陸地方整備局の協力により実施した上空からの観測では、白山周辺で噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図2、図3）

白山付近を震源とする火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。また、火山性微動は観測されませんでした。



図1-1 白山 山頂部の状況  
(12月18日 白峰監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。



大汝峰西方から見た状況（図1－3の①から撮影）



大汝峰北方から見た状況（図1－3の②から撮影）

図1－2 白山山頂付近の状況（9月22日）

- ・9月22日に北陸地方整備局の協力により実施した上空からの観測では、白山周辺で噴気は認められませんでした。

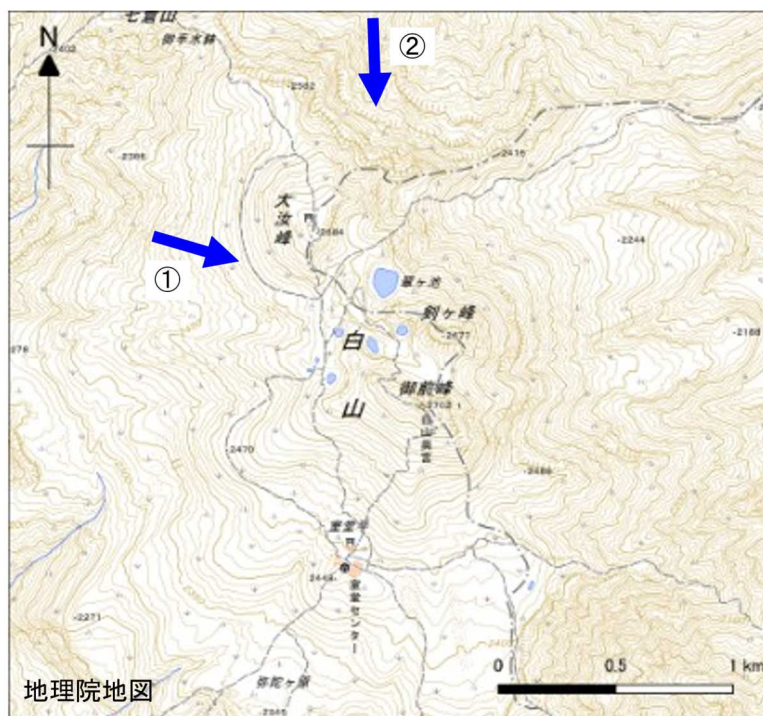


図1－3 白山周辺図

図中の番号は、図1－2の撮影方向に対応しています。

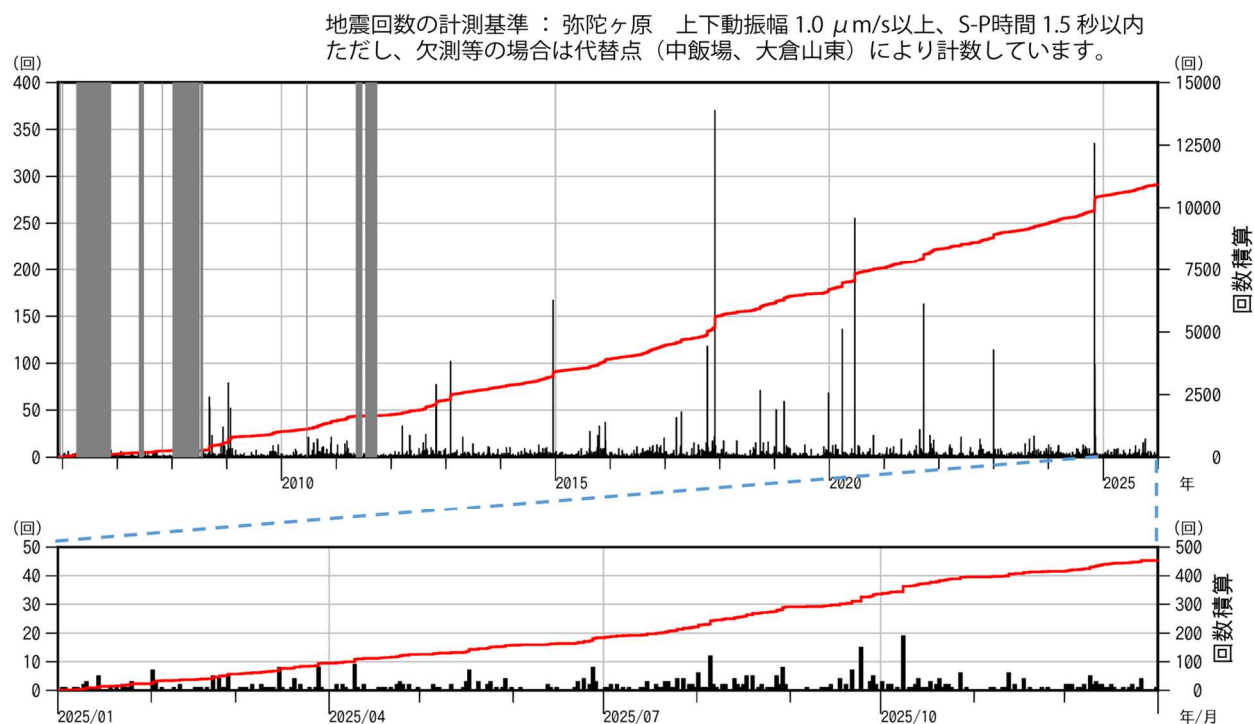


図2 白山 日別地震回数

（上段：2005年12月1日～2025年12月31日、下段：2025年1月1日～12月31日）

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

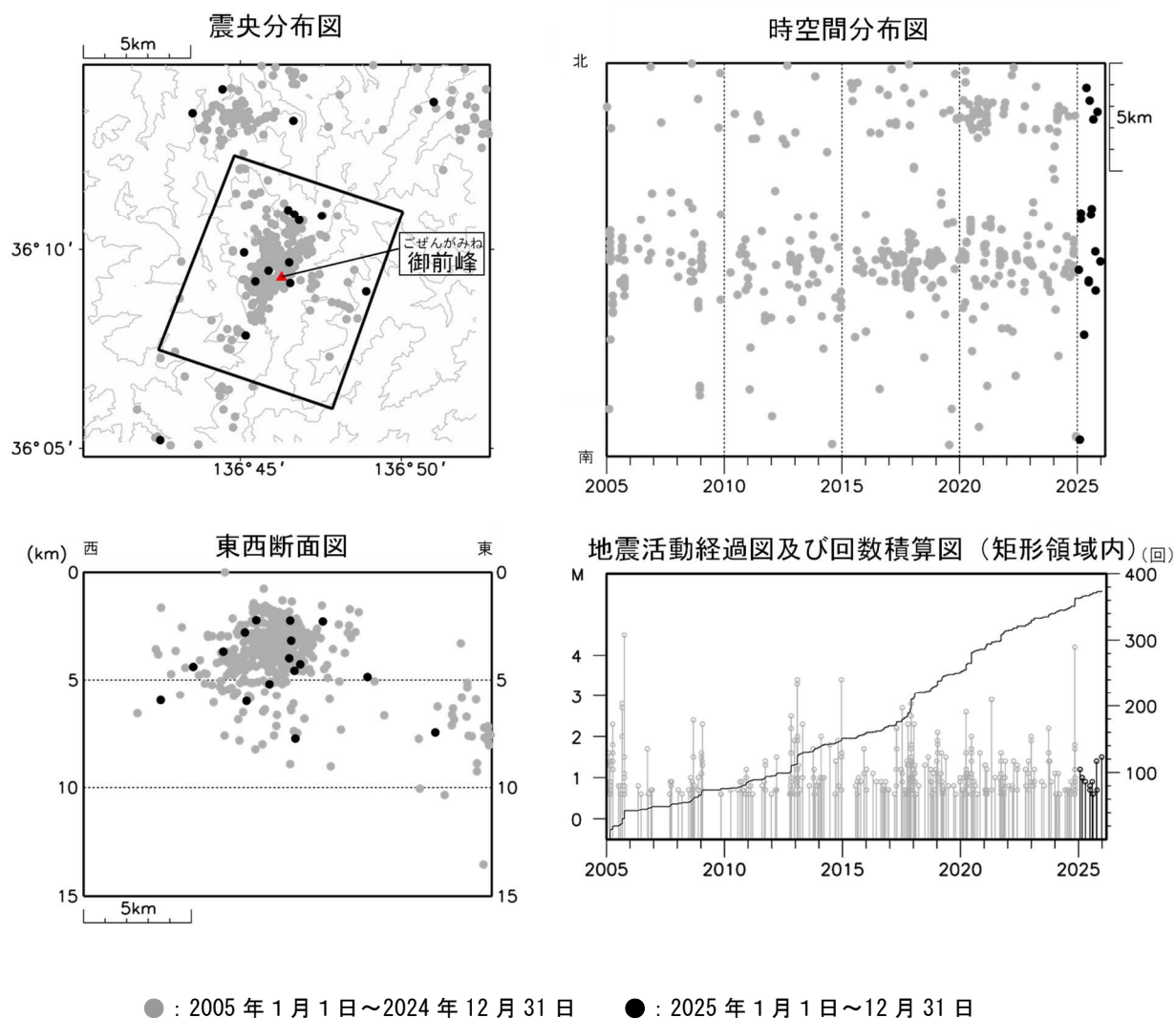
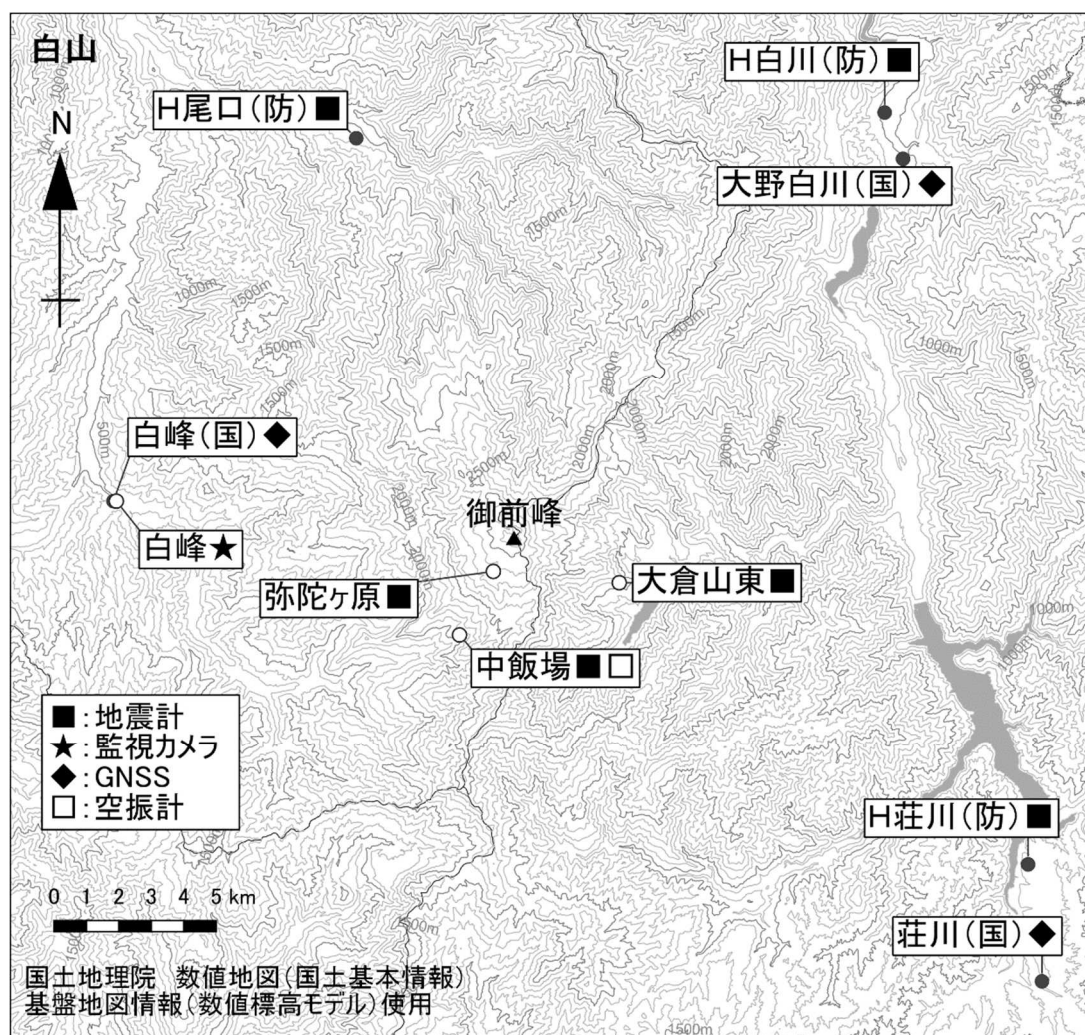


図3 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2005 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）  
 広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。なお、2020 年 9 月以降については、地震観測点の標高を考慮する等、震源決定の手法を変更しております。  
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。M0.6 以上の地震を表示しています。  
 図中の震源要素は一部暫定値を含んでおり、後日変更することがあります。





小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(国):国土地理院、(防):防災科学技術研究所

図4 白山 観測点配置図

表1 白山 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	弥陀ヶ原	36°08.78′	136°45.86′	2345	0	2005.12.1	
	中飯場	36°07.71′	136°45.17′	1540	0	2011.10.1	
	大倉山東	36°08.61′	136°48.48′	1595	-2	2016.12.1	広帯域地震計
空振計	中飯場	36°07.71′	136°45.17′	1540	4	2011.10.1	
監視カメラ	白峰	36°09.92′	136°38.10′	523	5	2010.4.1	